

整理番号：1－1

提言題名：コロナワクチンの子どもへの接種について

【提言の要旨】

私には孫が4人います。ワクチン接種について調べたところ、子供にはワクチンを打たない方がよいことに気が付きました。

また、大阪泉大津の市長さんがYouTubeなどで訴えていらっしゃるのを見て、共感しました。

藤井市長が子どもたちへの接種を積極的に行うとしたら、私は反対ですし、あとで被害者が出た場合、勧めた市長の責任問題にならないとも限りません。

そこで、要望になりますが、接種券の送付が始まるようですが、それは止められないでしょうが、保護者の方々に「接種は努力義務ではないこと、つまりやらなくても何の問題もないこと、ワクチンを打つのは一瞬でも、長い後遺症が残るリスクもあること、新型コロナは変異しても子供にはそれほど怖いものではないこと、大人はほとんどワクチンを打っているので、子どもがうつす心配はしなくてよいこと」以上を、わかるようにはっきりと、伝えていただきたいと思います。

政府や厚労省からの指導もあることと思いますが、これこそ、正義の問題ではないかと思えます。

前向きにご検討いただきますよう、平にお願い申し上げます。

(令和4年3月受付)

【回答の要旨】

市では5歳から11歳までを対象とした小児向け新型コロナワクチンが薬事承認されたことを受け、接種券等の発送を3月1日に11歳の方から段階的に開始し、今後も引き続き5歳に達する方へも接種券等の発送を継続していくところです。

そのなかで、ワクチン接種を受ける際は、感染症の予防効果と接種するリスク双方にご考慮を頂くため、接種券発送時に市が作成したチラシや、ファイザー社製小児用ワクチンについての説明書等を同封しております。ワクチン接種は義務ではなく、お子様と保護者の意思に基づいてワクチン接種を受けて頂けるよう周知を行っております。

また、基礎疾患がある場合には、かかりつけ医へご相談いただき、かかりつけ医で接種ができない場合には、小児専門医が対応できる医療機関をご案内しております。小児を含む市民の皆様に安全で正確なワクチン接種が進められるよう対応してまいります。

今後も市の保健衛生行政に何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

(保健センター 令和4年3月回答)